

# Wish

ユニセフ兵庫ニュース



vol. 45  
2015年1月号



## 2015 TAKE ACTION!

国連ユニセフのアンソニー・レーク事務局長は、「2014年は世界中の何百万人もの子どもたちにとって、恐怖と失望の年である」と発表しました。その危機の多くは、「忘れ去られ、ほとんど気にも留められていない」という関心の低さが、加速させているのです。私たちの日頃のユニセフ活動は、「今の私にできること」という、本当に身近な後方でのサポートです。それも、まずは「知る」「伝える」こと。でも、その小さなアクションは、多くの若者、子どもたちの命と未来を守ることに繋がっています。2015年、設立よりご尽力いただいた竹本成徳会長から、黒木稔新会長に代わります。積み重ねてきた活動やその思いをバトンタッチし、より一層、活動の輪を広げたいと願っています。（事務局長 福井康代）

### CONTENTS

- イベントレポート 第4回国際理解講座
- 2-3 「最高の授業を世界の果てまで届けよう」
- 2014 ひょうごにひろがるユニセフ活動
- 6-7 活動ファイル 2014年9月~12月
- 8 お知らせ

### ユニセフ募金 Donations For Unicef

#### ■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280兵庫	00190-5-31000	免除

#### ■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
エボラ出血熱	エボラ K1-280兵庫	00190-5-31000
フィリピン台風	フィリピン台風 K1-280兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280兵庫	00190-5-31000
アフリカ	アフリカ K1-280兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280兵庫	00190-5-31000

\*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会  
\*手数料免除

### ユニセフひょうごサポーター



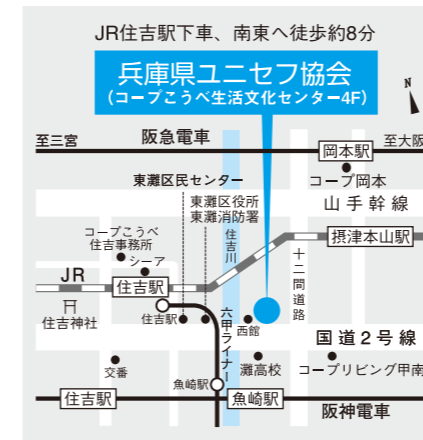
## Wish vol. 45

ユニセフ兵庫ニュース Wish  
2015年(平成27年)1月発行

発行: 兵庫県ユニセフ協会  
住所: 〒658-0081  
神戸市東灘区田中町5-3-18  
コープこうべ生活文化センター4F  
電話: 078-435-1605  
FAX: 078-451-9830  
(お問い合わせは平日の10:00~16:00)

●最新の情報はホームページで  
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>  
兵庫県ユニセフ協会 検索

#### ●兵庫県ユニセフ協会への案内図



### Join Us 主催イベント

世界のともだちと心をつなごう  
ユニセフのつどい  
Unicef Festival vol. 13  
2015年3月8日(日)  
10:30▶15:00 参加費無料  
コープこうべ生活文化センター

**出演**  
ユニセフ東京事務所代表 平林国彦  
ルワンダの教育を考える会 永遠瑠マリルイス  
CHA (カンボジア) 竹村彩花  
SPEC (ネパール) 吉川雄介  
アマニヤアフリカ (ケニア) 中津川勇志  
CODE (アフガニスタン)  
ソルト学生支部 (フィリピン)  
ODOP (ラオス)・関西学院 他

トークショー「子どもたちへの約束」  
ワークショップ「わくわくワールドカフェ」  
約15団体より出展、和太鼓演奏 他

お申し込み、お問い合わせ先 事務局 078-435-1605

### NEWS お知らせ

4月(予定)	国際理解講座①
5月9日(土)	国際理解講座② ネパール音楽を楽しもう
6月、7月	ユニセフ入門講座 詳細はHPをご覧ください。

### BOOTH 出展参加

1月16日(金)	つながろうCO・OPアクション交流会
2月8日(日)	2015ユニセフカップ神戸バレンタイン・ラブプラン
2月22日(日)	コープファミリーフェスタ
2月25日(水)	ママハビEXPO
3月14日(土)	祭 in すみよし
3月15日(日)	神戸国際交流フェア
3月31日(火)	コープこうべ第4地区サークル発表会
4月12日(日)	ユニセフカップ芦屋国際ファンラン

### 事務局からのお知らせ

兵庫県ユニセフ協会「第8回理事会、第4回評議会」を開催しました。

日時:12月8日(月)  
場所:コープこうべ生活文化センター

ユニセフ製品の頒布は終了しました。

2014年度の事業報告と決算見込みに関する件、2015年度の事業と予算に関する件、役員に関する件、すべての議案に承認いただきました。竹本成徳前会長には引き続き顧問に就任していただきました。

国連ユニセフ本部が行ってこられたユニセフカードとグッズの製作・頒布は、2014年末をもって終了いたしました。これに伴い兵庫県ユニセフ協会での頒布も終了いたしました。これまでご愛用いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

「こんにちは。税所です」威勢のいい挨拶と笑顔の青年が入ってきた。この人が講演者。「e-Education」旋風を巻き起こしている張本人。

会場は満員。若者言葉とスピード感あふれる説明、紹介される写真やアニメの資料。この講演スタイルもイノベーションかもしれない。失恋、落第、負の経験があっけらかんと話し、「この質問は話し合っ」と、問答を取り入れながら参加者との距離をどんどん縮めていく。

**いざ!! バングラデシュへ**

浪人生活後、せっかく入った早稲田大学なのにナンの価値も見いだせなかったという。そして、初めてできた彼女にもふられ、社会に役立つことをすれば彼女も振り返ってくれると奮起。ある日、「グラミン銀行知っていますか」という人生を変えた本に出会う。「僕ね、すぐに著者の秋田大学坪田ひろみ先生に電話し、次の日には夜行バスに乗って秋田へ行ったんです」。この速攻型の行動が彼の真骨頂。先生の話を聞き、バングラデシュに飛ぶことを決意。一か月半後にはダッカのジア(現シャージャラル)国際空港へ。2週間の滞在。帰国後、大学に休学届けを出したという決断力もすごい。その3か月後、ムハマド・ユヌス博士に会

いチャンスをつかむ。「テクノロジーの新しい活用法を見つけ、貧困層の生活を根本的に改善するアイデアを出してほしい」という言葉からヒントを得て「e-Education」を始動させる。

**そう甘くない**

首都ダッカは予備校の看板が並ぶ高学歴社会。ダッカ大学へ入るための競争は激しい。「しかしね。貧しい農村部では学校へも行けない子どもたちがいる。大受学なんからより出稼ぎでの収入を期待している。それじゃいつまでたっても生活は変わらないじゃないですか」。彼の語気が強くなる。「僕だって、予備校の映像授業を受けたから大学通っちゃったんだから。その手法を使って、ダッカで一番の英語、理科、数学、人気の先生たちを次々と説得して映像授業のコンテンツを作りました」。それを持って、パートナーのマヒン君のハムチャ村へ向かったそうだ。集まった生徒7人で「e-Education」プロジェクトが動き出した。しばらくして運営資金が底をつき、日本へ一時帰国。

その年、東日本大震災。プロジェクトを続けることが難しくなり、頼る当てのない彼が出会ったのが一橋大学米倉誠一郎先生。再び、息を吹き返し、挑戦が始まる。「いい出会いばかりではないですね。自分の未熟さ甘さを嫌と言うほど味わったんです。でもね、僕は次の日には歩きだしているんですよ」と言う。

「それから、村へ戻ったんですが予備校には誰も関心を示さなくなっていましたね。思案した拳句、高校生たちをオーブンキャンバスに連れて行くことにしました。男女仲良く、楽しそうな様子を見たら彼らは大学に行きたがったんです。猛勉強して、なんとダッカ大学を受験した30人中18人が見事合格。そのおかげで入学希望者が1000人を越えました」。その後、予備校は大繁盛だそうですが、彼の挑戦心は輝きを増す。

**最新はソマリランド編**

「ここはアフリカの角、南ソマリアです。毎日、酷暑。住んでいる価値もない、資源もない、砂漠と遊牧民しかいない荒野に大学院を作っちゃおうと。どうしますか、皆さんだったら」。よくぞ、このような場所を見つけたものだと思うばかりである。彼は続けて言う、「僕、ここへ行きたいんですよ」。笑顔で話す横顔に迷いは無い。しかも、応援する協力者が出てくるから不思議だ。こうして、公言どおり「5大陸ドラゴン桜プロジェクト」は、この辺境の地へも最高の授業を届けようとしている。

**新しい若者像**

彼は誰とでもすぐ友達になる。立ち直りが早い。自身のパートナーには信頼と友情を寄せる。何かをやりたい若者が

Profile プロフィール

さいしょ あつよし  
税所 篤快



国際教育支援NPO「e-Education」創業者。2014年現在、イギリスの大学院に在学中。1989年生まれ。2009年、バングラデシュに渡り、19歳でグラミン銀行(※)グループの研究ラボ初の日本人コーディネーターに就任。貧困地域の高校生を対象に、DVDを使った映像授業を展開。現在は「5大陸ドラゴン桜プロジェクト」を掲げ、バングラデシュ、ルワンダ、ヨルダン、ガザ地区などで「e-Education」の活動を展開している。

※グラミン銀行  
1974年、バングラデシュに大飢饉が起こり、経済学者ムハマド・ユヌス博士(ノーベル平和賞受賞)が「グラミン・バンク・プロジェクト」(信用貸しシステム)を設立。1983年グラミン銀行設立。グラミンとはベンガル語で「村の」という意味。主に、農村部の貧困女性の自立支援のために資金を提供。

# 税所篤快25歳。 世界の果てまで最高の授業を届けています。



**Event Data** イベント概要

日時 9月21日(日)  
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)  
参加者 63人



## イベントレポート EVENT REPORT

第4回 国際理解講座

### 「最高の授業を、世界の果てまで届けよう」

今、世界の教育界にイノベーションを起こそうとする若者。その名は税所篤快、25歳。発展途上国、避難民キャンプ、少数民族、その子どもたちは貧困ゆえに教育を受ける環境も無い。この格差からの脱出のために「最高の授業」を彼らへ届ける「e-Education」プロジェクト。その手法とは・・・。自称元落ちこぼれの彼がめざすものとは。その行動の軌跡を辿る。



福崎町立高岡小学校

### 2014年 参加 一覧



- ① 篠山市立岡野小学校
- ② 尼崎市立小園小学校
- ③ 赤穂市立城西小学校
- ④ 神戸大学附属明石小学校
- ⑤ 神戸市立成徳小学校
- ⑥ 神戸西区あさひ児童館
- ⑦ 夏休み「あそびっこ」ウィーク
- ⑧ 三木緑が丘コープ委員会
- ⑨ 神戸市立駒ヶ林小学校
- ⑩ 明石市立人丸小学校
- ⑪ 大阪経済大学
- ⑫ ボーイスカウト姫路16団
- ⑬ 香美町立香住第二中学校
- ⑭ 福崎町立高岡小学校
- ⑮ 木津っ子のびのびひろば
- ⑯ ボーイスカウト西宮13団
- ⑰ ボーイスカウト神戸52団

## 輪 その 1

### あなたのまちにも届けます！ ユニセフ 出前学習活動



楽しく学ぼう、ユニセフのこと、学習ボランティアが、世界の子どもの命を守るユニセフの活動を紹介します。今年、但馬初の学習会を香住第二中学校で行いました。



神戸まつり

# 2014 ひょうごにひろがる ユニセフの輪

小さな一歩を 大きな一歩に かえて

「できる人が できる時に できることを」を合言葉におよそ100人のボランティアが活動中。  
少しずつ県内にユニセフの輪が広がった2014年でした。



- 1 西宮ふるさとウォーク
- 2 コープこうべ組合員まつり
- 3 親子まなびあいそだちあいフェスタ
- 4 ユニセフカップ芦屋国際ファンラン

## 輪 その 2

### 地域 の イベントに 参加

「ひろげようユニセフの輪」  
地域の方とつながる  
絶好の機会。  
今年もみなさんの  
ところに伺います。



### はじめてみませんか ユニセフボランティア!!

みんなが笑顔。それが兵庫県ユニセフ協会の仲間の魅力。100人のボランティアは、子どもが大好き!! 世界にはワクチンさえあれば助かる命がある。紛争さえなければ学校へ行ける子どもたちがいる。小さな力を寄せ、世界の子どもたちへ届けませんか。  
できる人が、できる時に、できることを始めてみませんか、ユニセフのボランティア活動。

ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金。誰もがができる国際協力。

12月

子どもたちの窮状を伝えるユニセフ写真展。

10月

被災者の声に耳を傾ける東北ツアー。

5月

学生ボランティア、ユニセフが「つとめ」でも大活躍。

3月

ユニセフバザー。ボランティアが育てた草花は地域の人たちも心待ち。

11月

被災地の幼稚園へ今年もチューリップの球根を送りました。

10月

入門講座でユニセフを学ぶ。

6月

マサイの戦士と姫路で再会。

4月

神戸のど真ん中、朝日ホールで「地球のステージ」を開催。

9月

生活文化センター改装後、美しかった事務所は快適!

7月

さあ始めましょう。広報誌「Wish」は年3回発行。

1月

カレンダー募金。寄附のカレンダーが募金に。

2月

## ボランティアの 輪 2014



Activity File

# 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2014年9月～2014年12月



Activity List

## 学習会活動一覽

月日	訪問先	対象	人数
9月 8日	明石市立人丸小学校	小学6年	143
10月10日	大阪経済大学	大学2年	15
11月 3日	ボーイスカウト姫路16団	小中学生	23
11月 6日	香美町立香住第二中学校	中学1～3年	47
11月25日	福崎町立高岡小学校	小学5～6年	28
12月16日	木津っ子のびのびひろば	小学1年～4年	16
12月20日	ボーイスカウト西宮13団カブ隊	小学2年～4年	16
12月20日	A-Bridge Cup 監督会	大人	120
12月23日	ボーイスカウト神戸52団	小中学生	30

## 地域活動一覽

月日	イベント名
9月25日～10月1日	ユニセフ写真展「アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使～中央アフリカ共和国レポート～」(神戸市)
10月～11月	組合員まつり(地域名:浜芦屋、甲子園、甲陽園、武庫川、砥堀、播磨、上郡、稲美、龍野、西宮東、加古川、神吉、姫路東、高砂、姫路南、ニッケパークタウン、田寺、打出浜、相生)
10月18日	姫路医師会看護専門学校 ※
10月25日～26日	きょうとう学苑祭(三木市) ※
11月 1日	コープまなびあい・そだちあいフェスタ(神戸市) ※
11月8日～9日	ふれあいの祭典(豊岡市) ※
11月 8日	西宮ふるさとウォーク
11月 9日	ユニセフカップ西宮国際ハーフマラソン ※
11月22日	第3地区コープボランティア交流会(神戸市) ※
11月22日	ユニセフバザー(神戸市)
11月23日	税所美智子ハートフルコンサートPartIV(西宮市)
12月 6日	ユニセフ ハンド・イン・ハンド(会場:住吉・加古川)
12月23日	ユニセフ ハンド・イン・ハンド(会場:姫路・名谷・元町・三宮・住吉・西宮・伊丹・宝塚)

※ユニセフ製品を頒布しました。ご協力ありがとうございました。

## 1 税所美智子ハートフルコンサート PartIV「ガイア永遠の輝き」

11月23日(日)、兵庫県立芸術文化センターで、チャリティコンサートが行われました。この収益金は6団体に贈られ、ユニセフは125,416円の募金をいただきました。税所さんや多くの方々の温かいお気持ちはハートフル合唱団の美しい歌声によって世界の子どもたちに届いたことと思います。ありがとうございました。

## 2 ユニセフ写真展

アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使  
～中央アフリカ共和国レポート～

イベント概要 Event Data	日時 9月25日(木)～10月1日(水)
	会場 コープこうべ生活文化センター

アフリカ大陸の真ん中にある中央アフリカ共和国は、1960年フランスからの独立後、相次ぐ動乱や独裁政治が続き、全国民が紛争に巻き込まれてきた。人口全体の約半分を占める多くの子どもたちが犠牲になり、世界最悪の場所の一つになっている。

写真を通して、世界でもあまり報道されない中央アフリカ共和国の子どもたちが置かれている窮状が伝わってきた。

## 3 ユニセフ ハンド・イン・ハンド

～エボラ出血熱緊急支援の呼びかけ～

イベント概要 Event Data	日時 12月6日(土)
	会場 加古川ニッケパークタウン JR住吉駅付近

西アフリカで、今も感染拡大を続けるエボラ出血熱。脅威と隣り合わせて生きている多くの子どもたちのために緊急支援を呼びかけました。たくさんの方にご協力いただきました。



## 4 トライやる・ウィーク

日時:11月10日(月)～14日(金)



神戸市立本山中学校2年 田中海波、大平泰生  
神戸市立御影中学校2年 中川遼、エイズリー城  
神戸大学附属中等教育学校明石校舎3年 井口愛加里

5人の中学生がユニセフ製品の頒布、エボラ出血熱の調べ学習、募金の呼びかけのポスター制作など、ユニセフならではの仕事を体験した。今年は大学生との交流もあり、良い経験ができたようだ。

## 5 国際理解講座

会場 コープこうべ生活文化センター

※この講座は、兵庫県国際交流協会が実施する民間国際交流事業助成制度による助成事業です。

### 第5回 ラオス報告



山本 真司さん

(兵庫県ユニセフ協会学生ボランティアグループ「ユニーズ」)

山本さんは大学のプログラムからラオス人民民主共和国(以下ラオス)で一村一品運動のプロジェクトに4か月半派遣された。ラオスでは、大分県から始まったこの運動を使って自然の恵みや伝統的手法を生かし、技術やマーケティングの支援で地域の特産品を開発し、生活水準の向上を目指している。

山本さんはラオス南部の町を拠点に、特産のジャムを使ったキャンディ作りや天然蜂蜜のパッケージを手がけた。これらの品を扱う土産物店も任された。優しくてマイペースなラオス人と仕事を共にし、得難い経験を積んだ。

今回、彼が強く思ったことがある。ラオスは人口の8割が農業に従事し、お金はないけど、食べ物はあるし、治安もよく、人々は幸せそうに思えた。この国に先進国を目指した発展が必要なのだろうかと考えさせられた。

イベント概要 Event Data	日時 10月18日(土)
	参加者 29人

### 第6回

## アフリカで生きて働いた25年

早川 千晶さん

### 心はアフリカ人

学生時代、世界を旅するうちに、苦しくても生き生き暮らす人を見て、この命を精一杯生きることが大切であることを知った。その旅先の一つがケニア。「見かけは日本人だけれど心はアフリカ人」と話す早川さんはケニアに住んで25年。ケニアで働きながらケニア人と結婚し、子どもを育て、現在は、ストリートチルドレンのための学校「マゴススクール」を共同運営している。

### マゴススクールの始まり

緑豊か高級住宅街に隣接した世界最大級のスラム街。そこで生き抜く人々に魅力を感じていた早川さんは、ケニアに来て5年程が経った頃、両親を亡くし17人の兄弟の面倒を見ているリリアンと出会った。人生を変える運命的な出会いだった。ある時、リリアンが寂しい思いをしている孤児たちのお母さんになりたいと、辛い境遇の子どもたちを連れてきて、小さな寺子屋を作った。その時からマゴススクールが始まった。早川さんはリアンを支えたい、家賃の心配なく集える場所を作りたいと思い、長屋を購入した。

### マゴススクールの運営と転機

早川さんには、アフリカの素晴らしさを知ってほしい、同じ人間と



イベント概要 Event Data	日時 11月15日(土)
	参加者 48人

して対等な仲間になりたいから援助を当てにしないというこだわりがあった。そのため、学校の運営は、高級住宅街での廃品回収品の販売、洋服や小物の製作販売、日本でのライブ、日本からのスタディーツアーの収益などで賄っていた。

そこへ訪れた転機、それは早川さん自身の転機でもあった。2006年、腎不全を患う少年の死線を行き来しながらも生きたいと訴える目に心動かされ、多額の治療費を集めるための募金活動を行った。そのとき、街頭募金に応じてくれる人がたくさんいた。募金へのこだわりが解けた。

兵庫県ユニセフ協会では、これまで2度にわたり早川千晶さんをお招きしてのライブを行ってきました。今回はご自身にスポットを当ててご講演いただきました。

夢が子どもたちの支えであり、その夢が叶うように奔走する早川さんの姿に、私たちも夢を持つと思いました。